

第 26 回サイトメトリー技術者認定試験 合格体験記

【はじめに】

この度は、このような機会をいただき、日本サイトメトリー学会関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、臨床検査技師として血液検査室でのルーチン業務でフローサイトメトリー (FCM) 検査に携わるようになり、約 1 年後に認定試験を受験しました。私自身も受験勉強の際に「合格体験記」を参考にさせていただきました。これから受験される方にとって、私の体験が少しでもお役に立てれば幸いです。ここでは、受験を決めたきっかけ、試験勉強法、そして試験当日の概要についてお話しします。

【受験を決めたきっかけ】

私は日常業務として、骨髄や末梢血、リンパ節などの検体を対象に、白血病や悪性リンパ腫をメインとした FCM 検査を実施しています。形態学的検査だけでは判別が難しい場合、FCM 検査は非常に有用ですが、個人の知識や技術によって解析結果が大きく左右されるという側面もあります。臨床に有用で正確な解析を行うためには、日々の業務で培った知識をさらに向上させる必要があると感じていました。また、機器の原理など解析以外の技術的な部分についても、知識が不十分でした。そこで、自身の知識を深め、より専門的なスキルを身につけたいと思い、受験を決意しました。

【試験勉強方法】

私の勉強法は、日本サイトメトリー学会が推奨する教材を使い、効率よく知識を身につけることでした。まず、「スタンダードフローサイトメトリー 第 2 版」を最初から読み込み、同時に学会ホームページの「認定サイトメトリー技術者筆記試験到達目標」を参考にしながら、重要な点をノートに書き出して整理しました。次に、「チャレンジ認定試験」に挑戦し、出題内容から派生する関連知識も書き加えることで、知識を深めました。また、過去の合格者である先輩からお借りした講習会の資料も活用し、重要なポイントを繰り返し復習しました。特に苦労したのは、日常業務で携わっていない DNA 解析やその他の検査、そして蛍光波長やフローサイトメーターの構造・機能に関する知識でした。これらの分野は、スタンダードや自身でまとめたノートを何度も読み直し、理解を深めていきました。このように、重要なポイントをノートにまとめておくことで、試験直前にはその内容を重点的に見直すことができ、効率的に学習を進めることができたと感じています。

【試験当日の概要】

試験当日は、朝 9 時から夕方 17 時まで、長時間にわたるスケジュールでした。午前から午後にかけて約 6 時間の講習会が開催され、その後に筆記試験が実施される流れです。

講習会は、血球や FCM の基礎知識から始まり、検体の採取・保存、解析の方法、FCM データ演習、DNA 基礎と応用まで、8 つほどのテーマに分かれていました。各内容は専門家である講師の方々が非常に分かりやすく説明してくださり、特に自己学習だけでは習得が難しかった DNA 解析については、深い理解を得ることができました。この講習会は、事前に自分で学習してきたことの再復習と知識の整理をする上で、非常に貴重な機会となりました。長時間にわたる座学だったので、前日はしっかり休養を取り、体調を整えて臨むことをお勧めします。講習会終了後に筆記試験が実施されます。試験問題は、この日の講習会で説明された重要ポイントに加えて、事前に示されていた筆記試験到達目標やスタンダードの内容からも幅広く出題されている印象でした。

【おわりに】

サイトメトリー認定技術者試験を受験し、日常業務だけでは知ることのできない FCM の原理や応用について深い理解を得ることができました。この試験で得た知識を日々の業務に生かし、より精度の高い解析結果を提供することで、臨床に貢献できるようにさらなるスキルアップを目指したいと思います。